

2019年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

公益社団法人リース事業協会（以下、協会という。）では、リース契約が終了したリース終了物件（パソコン）を会員会社から無償で提供を受け、整備しソフトウェアを搭載した上で、東日本大震災および各地の自然災害により被災した方々を支援している非営利法人や社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人、各地の特別支援学校へ寄贈する活動を行っています。

2019年度の活動では、東日本大震災の復興支援として9法人へ11台^{*1}、他の自然災害の被災地支援として1法人へ20台^{*1}、社会的な課題の解決に向けた非営利法人への支援として8法人へ13台^{*1}、特別支援学校への支援として29校へ56台^{*2}、合計100台を寄贈し、全国で活用いただいています（表1）。

2011年度に本活動を始めてから2019年度までの寄贈数累計は1,776台となりました。

この他、会員会社の協力により企業で使用されている封筒を特別支援学校へ寄贈しており、2019年度は15万8千枚以上を寄贈し、全

国の特別支援学校の作業学習で活用いただきました。

この他、特別支援学校に会員企業からの作業を依頼、使用済み切手を提供する他、協会事務局から備蓄品などを非営利法人へ寄贈する活動を行いました。

当初、リース終了物件の寄贈から始まった当協会の活動は更に、「物の有効活用」へと広がり、リース業界全体として取り組んでいる3R（リデュース[発生抑制]・リユース[再使用]・リサイクル[再生利用]）の推進にも役立っています。

本稿では2019年度に実施した協会の社会貢献活動についての報告と2020年度の活動計画をご紹介します。

※1 リース終了パソコンの寄贈活動に際しては、日本マイクロソフト(株)様のシチズンシップライセンス（Windows10・Office2010）を活用させていただいています。

※2 リース終了パソコンの寄贈活動に際しては、日本マイクロソフト(株)様のシチズンシップライセンス（Windows10）を活用させていただいています。

表1 2019年度リース終了パソコン寄贈実績

	寄贈先	寄贈台数
東日本大震災復興支援活動	9法人	11台
上記以外の自然災害の被災地支援活動	1法人	20台
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人への支援活動	8法人	13台
特別支援学校に対する支援活動	29校	56台
総計	47	100台

1. 東日本大震災復興支援活動

【対象:被災3県(岩手県・宮城県・福島県)】

2011年度から開始している東日本大震災に関する被災地支援活動では、被災地域で復興および被災者・避難者に対する支援活動を行う非営利法人の活動を支えることを目的とし、リース終了パソコンの寄贈を行っています。

この実現のために、当協会では、被災現地で活動を行う非営利法人のニーズと、支援を行いたい企業等をマッチングする復興庁の「被災者支援コーディネート事業」を活用しています。

2019年度、協会では岩手県の1法人へ1台、宮城県の1法人へ1台、福島県の7法人へ9

台、合計9法人へ11台のリース終了パソコンを寄贈しました(表2)。

パソコンを寄贈した非営利法人では、地域の農産物や特産品を販売するための活動や、障がい者・不登校の児童生徒を対象とした学習支援、パソコンのスキルアップを目指す活



表2 寄贈先法人

寄贈先法人名		活動拠点	寄贈台数
1	特定非営利活動法人お茶っこケア	宮城県	1台
2	特定非営利活動法人0073	福島県	1台
3	NPO法人会津中高年雇用福祉事業団	福島県	1台
4	特定非営利活動法人がんばろう福島、農業者等の会	福島県	1台
5	特定非営利活動法人いわき自立生活センター	福島県	1台
6	特定非営利活動法人Lotus	福島県	2台
7	特定非営利活動法人しらかわ市民活動支援会	福島県	1台
8	特定非営利活動法人みんなのひろば	福島県	2台
9	特定非営利活動法人命ほにほに	岩手県	1台

〈リース終了パソコンの活用方法など(抜粋)〉

- ▶ 地域の課題や年々刻々と変化する被災者の抱える困難や悩みに対応するために会議と研修が欠かせずパソコンが必要不可欠ですが、事業所で使用しているパソコンの半数は発災当時から使用しているものでかなり消耗している。
- ▶ パソコンを使って障がい者の職域を広げたいと考えているが、パソコンが不足しており利用者の技術指導が十分できない状況である。寄贈を受けることで利用者の技術を向上させ、引き受けられる仕事の増加を目指したい。
- ▶ 不登校の子どもや障がいのある子ども等を支援している。寄贈されたパソコンを使用し、わからない言葉を率先して調べたり、タイピングやローマ字を覚えたいと練習を始める姿も見られました。この度の配慮に心よりお礼申し上げます。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

動等が行われており、リース終了パソコンは様々な場面で活用いただいています。

震災発生から9年が経過していますが、被災地域では、必要とされる支援の内容が様々な変化しています。更に細やかに被災者へ寄り添う支援の在り方が求められており、今後も「支援者を支える活動」を継続していくことの重要性を感じています。

2. 自然災害の被災地支援活動

【対象：全国】

2019年度は、令和元年8月13日から9月24日までの間の暴風雨及び豪雨による災害（※令和元年8月から9月の前線等に伴う大雨（台風第10号、第13号、第15号及び第17号の暴風雨を含む。））（以下、「台風15号災害支援」

という。）および、令和元年10月11日から同月14日までの間の暴風雨及び豪雨による災害（※台風第19号の暴風雨による災害）（以下、「台風19号災害支援」という。）など、台風・大雨による災害が頻発し、被災地域も広範にわたりました。

また、被災地域が時間をおかずして、さらに別の災害により被災をするという、被災地域・被災者にとり、非常に過酷な事態も発生しました。

当協会では、こうした被災地域で災害ボランティアセンターの運営を支援する活動を行う社会福祉法人中央共同募金会様へ、台風15号に関する支援に10台、さらに台風19号に関する支援として10台、合計20台のリース終了パソコンを寄贈し活用いただきました(表3)。

表3 寄贈先法人

	寄贈先法人名	活動拠点	寄贈台数
1	社会福祉法人中央共同募金会（台風15号災害支援）	東京都	10台
2	社会福祉法人中央共同募金会（台風19号災害支援）	東京都	10台

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 台風15号の被害が大きかった房総半島の富津市、館山市に隣都県の社会福祉協議会の職員が応援に入る予定となっており、その職員が業務に使用する端末として使用させていただきます。
- ▶ 当法人で管理しているパソコンは千葉県社会福祉協議会を通して貸し出しておりますが、まだ数が足りず、寄贈のお願いをさせて頂く次第です。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

3. 社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対する支援活動

【対象：沖縄県・九州・中国・四国地区・宮城県】

2019年度の「社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対する支援活動」では、子どもの貧困・教育関係において支援活動を行う非営利法人および、東日本大震災の

被災地において、地域の被災者を支援する団体と行政等を結び、団体の活動を中間支援している非営利法人からの要望をうけ、2法人へ3台のリース終了パソコンを寄贈しました。

この他、公共機関（児童相談所・区市町村役場・学校等）と連携し

- ①児童養護施設以降の生活等を支援
- ②社会的養護^{*3}が必要な児童等への支援

表4 寄贈先法人

寄贈先法人名		活動拠点	寄贈台数
1	認定特定非営利活動法人エデュケーションエークューブ	福岡県	2台
2	特定非営利活動法人そだちの樹	福岡県	1台
3	特定非営利活動法人地星社	宮城県	1台
4	特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡	福岡県	1台
5	NPO法人むぎの会	大分県	1台
6	NPO法人子どもシェルターおきなわ	沖縄県	2台
7	特定非営利活動法人丸亀街づくり研究所	香川県	3台
8	特定非営利活動法人自立援助ホームこんぴら鞆橋荘	香川県	2台

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 対象の若者たちが、自分たちで仕事や住まい等を探せる環境作り、情報の提供を行うと同時に、履歴書の作成やワード・エクセルの練習に活用したい。
- ▶ 私物のパソコンを使用しているが、スタッフの増員およびセキュリティや個人情報の保護の観点からも、業務専用のパソコンが必要であるが、資金不足によりパソコンの購入は難しい。
- ▶ リース終了パソコンを寄贈いただき心より御礼申し上げます。パソコンは社会的養護が必要な子どもたちを含む全ての子どもたちを取り巻く課題解決のために活用させていただきます。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

③長期療養・病弱児の院内学習支援

上記3つの活動を行う非営利法人のうち、沖縄県・九州・中国・四国地区に所在する非営利法人へリース終了パソコン寄贈のご案内をし、6法人から申し込みを受け、審査の後、リース終了パソコン10台を寄贈しました（表4）。

その他、日本マイクロソフト様からの依頼により、7月から8月にかけて実施されたminecraftイベント（子どもを対象としたプログラミングイベント）用にNPO法人アットマークリアスNPOサポートセンター様および特定非営利活動法人青少年自立援助センター様へ6台のパソコンを貸与し、子どもたちのプログラミング体験活動を支援しました。

※3 保護者のいない児童や、保護者がいても何らかの理由で育てることが困難な児童など、保護や養育を必要とする子どもに対し、行政の責任で保護・養育を行うしくみを、「社会的養護」と言います。

4. その他備品の寄贈活動

2019年度は、リース終了パソコンおよび特別支援学校向けの教材の寄贈・作業依頼のほかに、一般社団法人全国フードバンク推進協議会様を通じて、フードバンク12法人にバーコードリーダー・ホルダーセットを合計15セット寄贈しました（表5）。

フードバンクの業務では、食品等の出入庫管理およびトレーサビリティが重要であり、寄贈したバーコードリーダーは法人の事務効率化に活用いただきます。

また、協会事務局において備蓄している飲料水21本について、災害支援活動で物資が不足していたフードバンクTAMA様へ寄贈しました。

表5 バーコードリーダー寄贈先法人

寄贈先法人名		活動拠点	寄贈先法人名		活動拠点
1	NPO法人フードバンク奄美	鹿児島県	7	NPO法人神奈川フードバンク・プラス	神奈川県
2	一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき	長崎県	8	NPO法人フードバンク岩手	岩手県
3	フードバンクさが	佐賀県	9	一般社団法人フードバンクあきた	秋田県
4	フードバンク熊本	熊本県	10	NPO法人ふうどばんく東北AGAIN	宮城県
5	NPO法人てしおて	鹿児島県	11	NPO法人いのちのパン	宮城県
6	NPO法人報徳食品支援センター	神奈川県	12	一般社団法人フードバンクいしのまき	宮城県

〈一般社団法人全国フードバンク推進協議会様からの声（抜粋）〉

▶弊会では加盟団体へのトレーサビリティシステムの導入を進めており、導入にあたっては、フードバンク団体側でバーコードリーダーの購入が課題となっていたため、ご支援の申し出をいただき大変ありがたく思っております。

5. 特別支援学校に対する支援活動

①各地の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈 [対象：愛知県・富山県]

特別支援学校に対するリース終了パソコン寄贈活動では、全国の特別支援学校のうち、パソコン整備率（文部科学省：学校における教育の情報化の実態などに関する調査）などを勘案し、2019年度は愛知県と富山県へ寄贈のご案内をしました。応募のあった29校に合計56台のリース終了パソコンを寄贈しました。

特別支援学校では、生徒数・職員数の増加でパソコンの台数が不足していることに加え、外国籍の生徒も増えており、学校・保護者・通訳者間のコミュニケーションのために利用するパソコンのニーズが増えている状況です。一方、限られた予算内でパソコンを導入することが難しく、経年劣化や古いパソコンを使用しているのが現状です。

ITを活用した授業も期待される中、教育現場では、今後もパソコンニーズは益々高まることが予想されます。

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

▶ Windows XPをスタンドアロンで稼働しており、OSのサポート終了の面から不安を感じている。パソコン整備を検討しているが、購入する用途はたっていない。
 ▶ 情報機器は不足しているが、来年度以降に新学習指導要領においても多様な社会や学習へのニーズとして情報教育が担うべきものが多くあります。そのような中で、寄贈についてご案内をいただき、大変ありがたく思います。
 ▶ 児童生徒への貸し出し用のパソコンとして活用し、手軽に教室で調べ学習やプログラミング学習などを効果的に行っていききたい。また、寄宿舍の生徒が今まで出来なかった帰宅後の調べ学習などを自主的に出来るようにしていきたい。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

②各地の特別支援学校に対する作業学習用教材の提供 [対象：全国]（表6）

当協会では、社名変更や事務所移転などに

より、会員会社で使用しなくなった封筒を、特別支援学校へ寄贈し、作業学習で活用いただいています。

2019年度は会員会社15社の協力により、合計15万枚を超える封筒を、1都1道1府11県合計60校へ寄贈することができました。

特別支援学校の作業学習では、発送作業の練習（ラベル貼・封入・封緘・押印）で封筒を利用した後、最終的にシュレッダー作業までを行っている他、会社情報部分にマスキングテープや紙などを貼付した上で、ポチ袋や紙袋などの再生封筒も制作しています。

また、特別支援学校の中にはアビリンピック※4全国大会へ出場することで、生徒の技能向上を目指している学校もあります。このような学校では、使用済み封筒に紙を貼った上でラベル貼付作業の練習をするなど、校内で生徒が練習するための封筒を調達することが難しい現状があります。



封筒は、基本的には寄贈した会員会社が所在する地域の特別支援学校へ寄贈していますが、封筒が集まりやすい地域に所在する会員会社の封筒については、まだ寄贈活動を行っていない地域の特別支援学校にも寄贈しています。

※4 全国障害者技能競技大会。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたもの。

③東京都立港特別支援学校の作業学習への協力 [対象：東京都] (表6)

東京都立港特別支援学校での就労移行支援活動は、前年度から引き続き、普通科(オフィスワーク)および職能開発科の生徒に作業依頼を実施しました。

就労移行支援とは、企業に就職する前段階(学校)においてあらかじめ、企業で行われている郵便物の発送など、一部の業務を学校内で体験することで、就職後の業務をスムーズに行えるようになることを目的とするとともに、学校関係者以外の第三者(作業依頼者)との会話をとおし、コミュニケーション能力を向上させ、自信をもって社会に出ていってもらうことも目標にしています。

2019年度の活動は、普通科では、郵便物の発送作業(ラベル貼付・3つ折り・丁合・封入・封緘)やパンフレットの修正シール貼付作業を実施しました。

その他、ビジネスマナー・事務に役立つ講座を行うほか、2019年度初めての取り組みとして、エクセルのスキルアップ講座も実施しました。

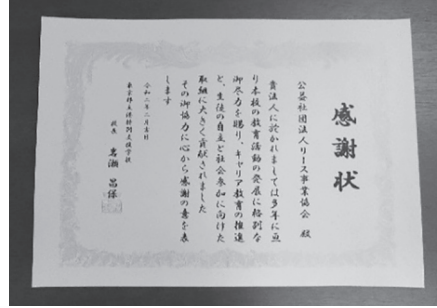
2020年度のカレンダーを作成するエクセル講座では、一人一人がお気に入りの写真を使い、個性的なカレンダーが仕上がりました。普段、口数の少ない生徒が、写真の選び方や使い方を工夫し、素敵な作品を仕上げている様子は、会話以外で「表現をする」ことの大切さや豊かさを知ることができ、大変意義深いものとなりました。

しかし、計6回予定していた作業学習のうち、2月に実施予定であった最後の作業学習は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校措置により中止となり、最後のまとめの時間がもてなかったこと、さらには卒業をする3年生に対し、行っていただいた作業の御礼を直接伝えることができなかったことは大変残

念な思いでした。

授業に参加した生徒からは、「教えていただいたことを作業学習の中で生かすことができました。これから実習の中でもスキルアッ

プできるよう頑張ります。」「仕事の取り組み方など、これから就職するうえで大事なことがわかりました。仕事に活かせるように頑張ります。」などの感想がありました。



〈作業学習に参加した生徒の感想（一例）〉

- ▶ 学んだことの中でとても印象的なことがあります。「仕事を好きになる」という言葉です。聞いたときは正直「ダメだなぁ～」と思いました。けれど、好きになることで、仕事の考え方や仕事に対する気持ちを楽にすることができるのですごいなと思いました。将来、仕事に就いてもその仕事を好きになり頑張ります。
- ▶ 仕事に大切なことを沢山教えてくださいありがとうございました。特に、「油断大敵 慣れてきたらミスをする」が一番心に残っています。これから学校生活でこのことを生かして頑張ります。

表6 作業学習用教材の提供活動

教材内容	提供先
封筒提供：合計158,071枚	宮城県 4校 栃木県 2校
	茨城県 4校 東京都 7校
	千葉県 4校 神奈川県 5校
	静岡県 5校 滋賀県 3校
	岐阜県 7校 島根県 2校
	大阪府 11校 愛媛県 1校
	長崎県 4校
	作業（三つ折り・押印・社内封筒作成・マーカー引き）
パンフレット修正作業	東京都 1校
パンフレット発送作業	東京都 1校
PDFファイル化作業	東京都 1校
封筒への修正シール貼付作業	北海道 1校
封入練習用パンフレット・チラシ・冊子の提供	栃木県 1校 神奈川県 1校
	岐阜県 1校 長崎県 1校
使用済み切手の提供	東京都 1校

※上記は、協会事務局からの提供を含みます。また、協会事務局からは別途、紙工作品を作成する際に使用する冊子の色厚紙、三つ折り練習のための裏紙の提供をしました。

※協会からの作業依頼については、東京都立港特別支援学校の普通科オフィスワーク・職能開発科の生徒が参加しました。

一方、職能開発科では、昨年度に引き続き、パンフレットの修正シール貼付作業を行っていただきました。今年度初めての作業学習の際に貼付作業のコツをお伝えし、作業を進めていただきましたが、コツの習熟が早く貼付ミスもなく、今年度は正確さに加えスピードもある作業を行っていただき、年度内に2,876枚ものパンフレットを修正いただきました。

また、東京都立港特別支援学校からは、2014年度から実施している当協会の当該活動について、2月25日に岩瀬校長より感謝状を授与いただきました。

6. 2020年度の活動計画

2020年度の社会貢献活動では、引き続き下記の3分野での活動を予定しています。

これらの活動を実施するために必要となるリース終了パソコンおよび作業学習用教材については、会員会社から募集します。

①東日本大震災などの自然災害の被災地に対する支援活動

東日本大震災の被災地支援では、復興庁「被災者支援コーディネート事業」を通じたリース終了パソコンの寄贈活動を行うとともに、被災3県で教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人に対するリース終了パソコン寄贈活動を継続して行います。
[対象：岩手県・宮城県・福島県]

また、自然災害における復旧・復興において被災地域・被災者を支える非営利法人を支援する活動を今後も継続します。[対象：全国]

②社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対する支援活動

2020年度における「社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対する支援活動」では、まだご案内をしていない近畿・中

部・関東・東北・北海道地区において、下記3分野で支援活動を行っている非営利法人に対する寄贈活動を開始します。

- ①児童養護施設以降の生活等を支援
- ②社会的養護が必要な児童等への支援
- ③長期療養・病弱児の院内学習支援

また、2018年度に支援活動を実施した際、リース終了パソコンのニーズが多く、また、継続支援の要望がありました、子どもの貧困・教育支援を行っている非営利法人あての寄贈活動についても実施する予定です。[対象：全国]

③特別支援学校に対する支援活動

「学校における教育の情報化の実態などに関する調査」(文部科学省)を参考に、全国の特別支援学校におけるパソコン整備率などを勘案し、2～3都道府県の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈活動および会員会社から提供される作業学習用教材を提供する活動を継続します。[対象：全国]

また、東京都立港特別支援学校における就労移行支援活動についても継続します。[対象：東京都]

さいごに

近年、地球温暖化の影響によると思われる自然災害が増加し、且つ、その威力が増すことが懸念される中、2019年度においても複数の大きな災害が発生し、各地で甚大な被害が発生しました。

また、2019年12月末からは、新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界各国に深刻な影響を与えています。

今後、教育現場や社会的に支援を必要としている人たちへの支援の在り方も変容してくることが考えられますが、必要な時に迅速に支援活動を行うことができるよう、これから

も万全の準備をしまいたします。

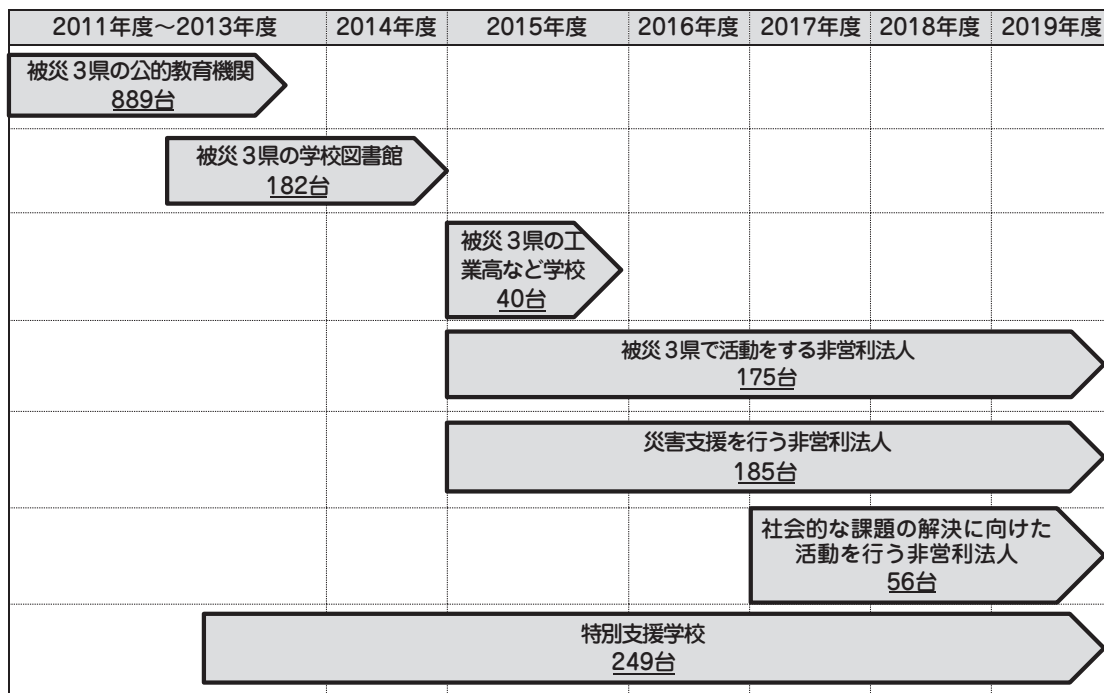
最後になりましたが、リース終了パソコンの寄贈活動および作業学習用教材の提供活動は、会員会社の協力を得て、沢山の方々に支えられて成り立っています。当協会の社会貢献活動にご協力いただいているすべての企業・団体・教育機関の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご協力を

賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

13頁からの別添資料では、リース終了パソコンや作業学習用教材を寄贈した非営利法人・特別支援学校等からいただいた声を紹介しています。リース終了パソコンや作業学習用教材が様々な場面でお役に立てている様子がうかがえますので是非ご一読ください。

【参考資料】

〈リース終了パソコン寄贈活動の展開〉



〈リース終了パソコンの寄贈実績〉

(単位：台)

支援活動	2011年度～2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	累計
東日本大震災復興支援活動	902	95	74	114	42	29	19	11	1,286
上記以外の自然災害の被災地支援活動				10	91	10	54	20	185
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人への支援活動						12	31	13	56
特別支援学校に対する支援活動		37	44	36	20	28	28	56	249
合計	902	132	118	160	153	79	132	100	1,776

※その他、日本マイクロソフト様からの依頼によりminecraftイベント（子どもを対象としたプログラミングイベント）用にNPO法人へ6台のパソコンを貸与した。(2019年7～8月)

【リース終了パソコンを提供した会員会社名（2019年度）】

【正会員】

三井住友ファイナンス&リース(株)／東京センチュリー(株)／JA三井リース(株)
日立キャピタル(株)／NECキャピタルソリューション(株)／昭和リース(株)／みずほリース(株)
三菱UFJリース(株)／静銀リース(株)

【作業学習用教材を提供した会員会社名（2019年度）】

【正会員】

みずほリース(株)／みずほ東芝リース(株)／昭和リース(株)／JA三井リース(株)
芙蓉総合リース(株)／オリックス(株)／中道リース(株)／浜銀ファイナンス(株)
東京きらぼしリース(株)／(株)めぶきリース／三井住友ファイナンス&リース(株)

【賛助会員】

A J C C(株)／紀陽リース・キャピタル(株)／静岡焼津リース(株)／(株)札幌北洋リース

(別添)

リース終了パソコン寄贈活動

*寄贈パソコン・封筒応募時に各法人・教育機関からいただいた情報および寄贈後にいただいたお礼等をもとに作成しました。

【東日本大震災被災地支援】

(岩手県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
<ul style="list-style-type: none">災害時において、避難所でペットと飼い主さんへの対応保健所と連携して、被災犬・放浪犬の捕獲・管理ペット同伴避難体験会の開催東日本大震災のボランティアを通しての「命の大切さ」「ボランティア活動」等についての講演	今までは、実働も事務も全て一人が行ってきたが、一人で行える許容範囲をオーバーしたため、事務局を設けることになった。しかし、パソコンを準備する資金もなく、岩手提携復興センターに相談したところ、こちらをご紹介頂いた。リース終了パソコンについては、災害時のペット同伴避難に関連した活動全般に活用させて頂きたい。	寄贈いただいたパソコンを、被災地の「守るべき命」のために有効に使わせていただきます。本当に助かりました。このパソコンを使わせていただき、被災地の主に飼い主とペットのために、そして、そこを支える基盤になれるようにがんばります。本当にありがとうございました。

(宮城県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
地域の誰もが参加可能なサロン活動、65歳以上の方にミニデイサービス、介護保険法及び障害者総合支援法における通所介護、生活介護、生活訓練、日中一時支援。地域の困りごと相談を受け解決または専門機関につなげる地域生活総合支援事業を行っている。	設立から、手探りで行っていた団体運営も6年が経ち、組織基盤強化の必要性を強く感じている。現在、事業所で使用しているパソコンは4台あるが、内2台は発災当時のボランティア活動から使用しているものでかなり消耗している。また会計、給与ソフトを使用して事務手続きの軽減を行う。事業所では大震災から8年が経ち地域課題が年々刻々と変化する被災者の抱える困難や悩みに対応するために毎月の会議と職員研修が欠かせない。そのためにもやはりパソコンが必要不可欠である。	ここ数年相談件数の増加の著しい医療的ケアが必要な重度障害や重度自閉症などを抱える支援学校卒業生の受入をすることのできる新しいNPO法人設立を目標に地域に根差した仲間づくりを行い持続的な活動としての基盤を構築したいと考えている。

(福島県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
<ul style="list-style-type: none">福島県の農産物の販売高齢者の買い物カーの手配小学生の寺子屋の活動シルバー食堂の開設等	福島農産物販売のデータベースを扱ったり、ホームページを充実するために使用する。	今年の冬より干しいもの製造販売を行う。既に10tのさつまいもの値付が終了している。雇用も含め地域を盛り上げていきたい。
植樹した「友好の桜」の施肥や下草刈りなどを行っている。	現在法人専用のパソコンを所持しておらず、個人の所有物を使用しているため、事務処理や報告用の文書作成のために使用する。	姉妹都市のみなさんと合計65本の桜の苗木を植樹した。下草刈りやゴミ拾いなどの清掃活動を通して、この「友好の桜」をこれからも見守っていき、帰町された方や、町に残られた方を含めて将来、桜の下でお花見ができることを望む。
<ul style="list-style-type: none">福島県内54の農家が連携し(NPO会員)、放射能対策や風評被害等の復興事業を行う福島県の現状を理解してもらうため、全国の消費者の受け入れ活動(スタディファーム)の実施福島県産農産物の首都圏等の直販活動	専従職員が2名いるのにもかかわらず、パソコンが1台しかなく、交代で使用している状況。さらに、そのパソコンも7年前に購入したもので古くなってきている。風評被害対策事業(全国の消費者への福島県産農産物の販売)、視察受入(スタディファーム)、情報発信、ロジックモデルの作成、経理等に関し文書ソフト、メール、計算ソフト等をおおいに活用したい。	県内全域の54の農家が参加協力して活動しており、参加農家も徐々に増えている状況で連絡調整には、さらにITを活用していく必要がある。また、当NPOを応援してくれている全国の消費者やボランティアも徐々に増えている状況であり、このような事に対応するためにもパソコンはぜひ必要である。大変ありがとうございます。有効に使用させていただきます。

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
<p>原発事故避難者の生きがいつくりの一環として、家庭菜園「パオ農園」(40区画)を運営している。災害公営住宅の自動車を使った住民互助型の外出支援の立ち上げを援助している。</p>	<p>障がい者福祉・介護事業を行っている。そのひとつに、生活介護アライブという障がい者通所サービス事業があり、ここでは、パソコンを使った作業をメインに活動しているが、パソコンが足りず、通所サービス利用者にパソコンの技術指導が十分にできていない。もし、パソコンの寄贈を受けることができれば、利用者の技術が向上し、名刺づくりやチラシ作成などの仕事を引き受けられるようになると思う。</p>	<p>パソコンを使って障がい者の職域を広げたいと考えているが、職員に高いレベルのパソコンスキルを持った者がいないため、仕事が増やせないという課題がある。利用者は増加しており、仕事を増やしていく必要に迫られている。この度は大変ありがとうございました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・震災遺児孤児・児童養護施設・自治体への木育キャラバン事業訪問 ・木育玩具寄贈支援 ・帰還区域への木育キャラバン ・帰還区域復興木育事業企画デザイン・製作 	<p>①会津を中心にした子育て包括支援の継続 ②被災地の企業主導型保育園兼屋内遊び場カフェ出店予定 上記の①②を継続するため、人員増員を行い、事務所機能強化を図る。</p>	<p>行政協働事業により、地域の公園開発へ協働し、現在までの施設を複合施設として統一した出店を2店舗計画している。</p>
	<p>東日本大震災に加え、東京電力の原発事故により人生の再構築がいまだに困難な状況にある、地域の、特に高齢者が健康寿命を保ち、元気に生きがいを感じながら輝いて暮らしていくため、健康づくりや地域のイベント、利用できる行政サービス、新たに導入される施策等、必要な情報をわかりやすく提供するため、シニア世代向けの情報誌を発行していく。こうした情報収集や編集のためのパソコンが当法人には余裕がなく、個人のパソコンを使用している状況である。このため、今回パソコン寄贈への申請をさせて頂く。該当となれば大変有り難く存じます。</p>	<p>活字離れをいわれるものの、IT、SNS等での情報入手になかなか対応しきれないシニア世代にとっては、やはり紙ベースが頼りになるのは必須ではないかと思う。その上、シニア世代に向けた情報誌等は近隣にはこれまでになかっただけに、期待に応えられるのではないかと考えている。</p>
<p>震災後、発達障害のある子どもたちの不登校が増加し、当法人のフリースクールも在籍児童生徒の7割が発達障害の診断を受けた子どもたちである。当該地域の不登校や知的障害・発達障害のある児童生徒をサポートする活動を現在も続けている。一人ひとりが安心して過ごすことのできる居場所づくりとこれからの社会へ一歩踏み出すための自立支援を行っている。</p>	<p>不登校の子どもたちが通うフリースクール、知的障害・発達障害のある子ども達が利用する放課後等デイサービス、どちらの事業所においても、子ども達の活動の中でパソコンに触れる機会・学べる時間を作ってあげたいと考えている。タイピングの練習や正しいインターネットの使い方を学んだり、動画を視聴したり、ペンタブ等を使って絵を描いたり活動の幅を広げることができる。また、学習障害のある子どもにとっては(漢字を覚えられない・計算ができない等)今後生活していく中でパソコンは有効なツールの一つとなるものである。パソコンを寄贈頂くことで、利用している子ども達に楽しさと学びを提供することができる。</p>	<p>高校生を中心に自立支援の一環、就職準備訓練として、福島の情報発信サイト&通販サイトの運営を計画している。また、フリマサイトを利用して、障がい者施設で作っている作品の代理販売や自分達で集めた商品等を出品し、買って頂いた方にはお礼の手紙を添えて丁寧に梱包し発送する。これらの計画を進めるためにもパソコンは必須である。 この度の配慮に恐縮するとともに、心よりお礼申し上げます。子供たちも新しいパソコンを使用し、わからない言葉を率先して調べたり、この機会に「タイピングやローマ字を覚えたい」と練習を始める姿も見られました。</p>

【台風15号・19号災害支援】

パソコンの状況	パソコンの使用目的	その他
	ご提供いただいたパソコンを、被災地の災害ボランティアセンターに貸し出しを行っており、以降は災害発生した場合に災害ボランティアセンターへの貸し出しを繰り返し活用が終了後には返却頂き、データ等を消去の上、次の災害に備えて保管・管理をしている。熊本地震や平成30年7月豪雨の際は、十数ヶ所の災害ボランティアセンターが設置されたこともあり、管理しているパソコンでは不足し、新たに貴会からの貸与を頂き被災者支援活動に活用している。	台風15号の被害が大きかった房総半島の富津市、館山市にこれから近隣都県の社会福祉協議会の職員が応援に入る予定となっており、その職員が業務に使用する端末として使用させていただきたい。台風15号災害でも管理しているパソコンは千葉県社会福祉協議会を通して貸し出ししているが、まだ数が足りず、寄贈のお願いをさせて頂く次第である。

【社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人支援】

活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
		非常に状態の良いハイスペックなPCをご寄贈頂き、本当にありがとうございました。スタッフと子ども達でしっかり活用させて頂きたいと思う。
復興支援団体を主な対象に、運営に関する相談支援や、個別の研修を行い、事業計画や資金調達計画の策定などを支援している。	スタッフの私物のパソコンを利用しているが、スタッフが増えたこともあり、セキュリティや個人情報保護などの観点からも、業務専用のパソコンを団体として揃える必要があるが、パソコンの購入までなかなか資金が足りない。ソーシャルライター養成講座で、復興に取り組む団体や地域の課題を取材し、情報発信していける人材を育成する事業を始める。これにより地域の人が地域の課題に関心を持ち、復興支援への参加や協力を広げていくことを目指す。	地域のことに関心を持つ人を、地域の中に増やしていくことを目指している。復興支援団体の取材や情報発信だけでなく、地域の課題に自ら取り組んだり、地域コーディネーター的な動きができる人材の育成にもつながっていきたく考えている。この度は、パソコンを寄贈していただけることで心より感謝いたします。大事に使わせていただき、地域の復興支援に役立てたいと思います。
	対象の若者達が、自分達で仕事や住まい等を探せる環境作り、および資料の情報提供。また、同時に履歴書の作成や、ワード・エクセルの練習に活用したいと思う。	パソコンをありがとうございました。とてもきれいな状態で嬉しかったです。さっそく利用者の子達と一緒に履歴書の作成等に活用していきます。
<ul style="list-style-type: none"> 多様な分野の市民・NPO・専門家のネットワークと行政（児童相談所）との協働により、里親制度の普及と里親養育支援を中心課題として活動を進める。 社会的養護の子ども達を含む、地域の子ども達の声を聴き、社会発信する場をつくる。 	里親制度の普及啓発の活動や、子ども達の声を聴く活動等、パソコンを持ち出す際、パソコンを他事業でも使用しており、個人情報を含む様々な情報が保存されているため、適切な情報取り扱いの観点から、持ち出し用のパソコンが必要であると感じている。大学生インターンシップ用の新たなパソコンを必要としている。パソコンを活用し、事務局職員及びインターンシップ生、ボランティアスタッフが、活動の記録、広報、情報管理等を行う。	より多くの市民が子どもの課題に関心を持ち、ともに課題解決を目指すネットワークをひろげていく。この度は、リース終了パソコンをご寄贈賜りまして、心より御礼申し上げます。ご寄贈頂きましたパソコンは、社会的養護が必要な子どもたちを含むすべての子どもたちを取り巻く課題解決のために活用させて頂きます。
県下の児童養護施設の子供達のための奨学金制度に会員から募った会費の約半分を寄付すると共に子供達を対象にしたいもほり・たけのこほり等を定期的に行っている。	会計処理等をエクセルを使って簡単にできるようにすることと色々な書類等をパソコン管理するために必要。	会員拡大を図り子供達に更に喜ばれる様な活動をしていきたい。

活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
虐待、非行、貧困その他の理由により居場所を失った子ども（おおむね15歳から20歳までの女の子）に安心して暮らせる場所を提供し、子どもに寄り添いながら支援する。	入所者の自立のための活動、退所後の生活において活用させていただきたい。	一時的な緊急避難所であり、中長期的な支援に限界がある。今後、中長期的な生活支援を行える居場所を作りたい。いただいたご厚意に添えるよう、今後も全力で子どもたちの支援にあたっていききたいと思う。
県内全域の児童福祉施設・児童相談所アフターケア事業所、退所者の生活相談や役場、銀行への同行支援や金銭管理、また就労支援や退所者同士の居場所作りサロンを実施。 自立援助ホームを2ヶ所運営しており、社会的養護が必要な児童が入所し、仕事をしながら自立していく力をつけていく支援を行っている。	パソコンを使って、子どもと一緒に就職を探したり、適職診断を行いたいと思う。また、退所後や自立に向けての話をする時に実際にパソコンを使って、賃貸の物件を探すことや簡単な使い方のレクチャーをすることで、より選択肢を増やすことができる活動をすすめていく予定である。	社会的養護の支援、退所後の支援もまだまだ県内で支援が十分足りているとは言えない。しかし、制度のはざまに困っている人たちの助けになる我々の活動が少しずつでも社会に広がっていくことで、今後子どもたちにとってより生きやすい社会が実現することを考えている。
①児童養護施設以降の生活等を支援 ②社会的養護が必要な児童等への支援 上記活動における、日常生活の支援、就業継続の支援、生活設計の支援。	事務作業に必要なため（会計・関係機関との連絡、支援の計画及び記録等）。	入所者にパソコンの初歩的な技能を身につける機会もつくっていききたい。 ご寄贈いただけるとのこと、大変助かります。有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

【特別支援学校への支援】
（愛知県）

パソコンの状況	使用目的	その他
Windows XPを授業で2台使用している。	Windows XPの代わりとして授業で使用したい。	
パソコンは、Windows XPをスタンドアロンで稼働しており、OSのサポート終了の面から不安を感じている。学校でパソコンの整備を検討しているが、購入する目処がたっていない。	視覚障害者用点字教材作成のため、専用の点字プリンタに接続して使用する。	パソコンは、視覚障害者にも使用できるように画面読み上げソフトをインストールして運用する。このソフトを使用するには、十分なメモリがあれば快適に動作するため、メモリの大きい機種を希望する。
	<ul style="list-style-type: none"> • 寄宿舎の舎生用として学習や余暇で使う。 • 視線入力用パソコンとして、視線入力装置を設置し、キーボード入力やマウス入力できない児童生徒用として使う。 • スカイプ用パソコンとして学習活動や他校との交流で使用する。 	寄贈していただくパソコンについては、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。
コンピューター室や視聴覚室はあるものの、児童生徒が使用することができるパソコンはない。	コンピューター室、視聴覚室において、児童生徒が実際にパソコンを扱ったり、画面を見たりして、パソコンに慣れ、情報活用能力を育成する。 本校には、日本語の保護者案内を読むことが難しい保護者の方もいる。外部の翻訳サービスを利用する際に、翻訳サービス者に使って頂くことも考えている。	本校は情報機器が不足している。また、来年度以降に実施される新学習指導要領においても、多様な社会や学習へのニーズとして、情報教育が担うべきものが多くある。そのような中で、今回、リース終了パソコンの寄贈について、ご案内頂き大変ありがとうございます。大切に使いたいと思います。
	主に貸出用パソコンとして、授業や生徒の調べ学習等で使用する予定。	
古い機種も多いため、動作に時間がかかったり、使用できないソフトもある。児童が使用できるパソコンとしては、タブレット型のものであるが、経年のため、不具合が見られるものもある。		
	児童生徒の学習支援のため。	

パソコンの状況	使用目的	その他
高等部情報の授業で使用している。台数も高等部1学級程度が使用できる程度の台数である。		パソコンも古くなっており、子どもたちの活動にも制限がある状態である。
ノートパソコン (WindowsVISTA) があるが、サポート切れのためインターネットに接続することができず、スタンドアロンでタイピングや入力の練習用に使っている。	寄宿舎の生徒の学習用のパソコンとして運用していきたいと考えている。	非常にありがたいお話です。ありがとうございました。
生徒用で使用しているノートパソコンのOSが古く、セキュリティ面で不備があるため、LANに接続できない。データ保存ができず、USBメモリーに一旦保存し、授業後に教員が生徒用のサーバーに保存している。	最大14名の生徒で授業を行っているが、LAN接続及びネット接続ができるパソコンが8台しかないため、とても不便な状況で授業を行っている。少しでも、便利なパソコンを増やし、生徒の学習環境を良くしたい。また、データ保存に手間がかかり、教員の負担増にもなっており、少しでも業務削減をしたい。	
	寄宿舎指導員の業務用として使用する。	
児童生徒が使用できるパソコンは、コンピューター室にあるデスクトップ型PCのみである。	<ul style="list-style-type: none"> 自立活動等の授業で児童生徒がPCに触れる機会を増やし、ICT教育の推進を図っていく。 非正規採用教員の業務の効率化。 	リース終了パソコンは本校で活用させていただきます。本当にありがとうございました。
現在、学校で購入したノートパソコンがあるが、OSがWindows7のため、来年1月でサポートが終了する状態である。新規のパソコンについては、他にも使用頻度が高いパソコンがあるため、購入が追いつかない状況である。	部活動の大会等でパソコンが必要な場合があり、校外にパソコンを持ち出す場合に使うことが考えられる。また、県から支給されているパソコンの故障時や教育実習生への貸し出しなど、臨時で使う時のために今回のノートパソコンを使う場合が想定される。	今回は寄贈のご案内をして頂き、誠にありがとうございます。寄贈された際には是非活用させていただきます。
情報処理室があるが、児童生徒数に対してパソコンの数が不十分なことや、高等部棟から情報処理室が遠いことから、すべての児童生徒が十分にパソコンを活用できているとは言いがたい状況である。また、寄宿舎には生徒が利用できるパソコンがなく、宿題で調べ学習を行ったり、気になることを調べたりといったことができない。	児童生徒への貸出用として利用したいと考えている。ノートパソコンを貸出用として活用することで、手軽に教室で活用できる機会が増える。調べ学習やプログラミング学習などを効果的に行っていききたい。また、寄宿舎の生徒が今までできなかった帰宅後の調べ学習などを自主的に行えるようにしていきたい。	パソコンの寄贈、ありがとうございました。
	音楽編集ソフトをインストールして、教員用パソコンよりも高度な教材を作成したり、非常勤職員や教育実習生のデータ作成用として活用したりするために導入したいと考えている。	
本校にはコンピューター室があるが、施設内学級にはなく、学校購入したものを使用しているが、数が不足しているため学習効率が悪い。	施設内学級において、児童・生徒の使用するパソコンが不足しているため使用したい。	本校の他に、3つの施設内学級がある。近年ICT機器の整備を積極的に行っているものの現状パソコンが足りていない。児童・生徒の授業において有効利用していきたいと思う。
職員用パソコンを職員指導のもと利用していたが、ノートパソコンが職員室から持ち出せなくなること、授業で使用中はそのパソコンの持ち主がパソコンを使えなくなることからぜひノートパソコンを寄贈して頂きたい。	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の学習用 生徒の就労体験や産業現場等における実習用 	
	<ul style="list-style-type: none"> 教材作成 学習指導 	

パソコンの状況	使用目的	その他
学校独自に配備したデスクトップパソコンやノートパソコンがあるが、いずれも特定の業務に使用していることや、老朽化していることから、利用しにくい状況である。学校で配備したものは、OSがXPであったりして、早急の更新が必要である。	寄贈を受けるパソコンは、寄宿指導員の校務用に利用したいと考えている。寄宿舎指導員が主に利用しているパソコンがVISTAのものであり、セキュリティポリシー上、様々な制約があるため利用しにくい。その改善が大いに期待できる。	
	<ul style="list-style-type: none"> 教材作成、校務処理、成績関係、事務処理、会議（ペーパーレス化） テレビとつなげて授業で活用 ICT活用として使用 	予算が少ないこともあり、情報関係にあてる予算にかなりの制限がある。そのため、必要に応じてパソコンを購入したくても、なかなか購入できない。今回のようなお話は、とても嬉しく思います。

(富山県)

パソコンの状況	使用目的	その他
	幼稚部、小学部、中学部、高等部の授業で使用。	
	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒のインターネットの利用 大型テレビに接続して画像・データの提示 	
児童生徒数が多く、学級数が多いため、授業で使用するパソコンは不足がちである。	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション 動画再生 等 	
	執務用、学習用（教材を提示する、生徒が操作する等）のため。	リース終了パソコンを寄贈していただき、ありがとうございました。
児童・生徒用のパソコンはあるものの、OSを8.1や10にアップできない古い7のタブレットパソコンが多く、児童・生徒用のパソコンが不足する見通しである。	児童・生徒が授業で調べ学習等で使用する。	
生徒用のノートパソコンはWindows 7やWindows 8.1である。Windows 7はいずれも動作が遅く、フリーズすることも多い。	生徒用貸し出しパソコンとして利用する（今あるものと交換する）。	
	作成したパソコン用教材を教室等で利用する場合は、USBメモリで、執務用パソコンから校内LAN用パソコンに移動させる必要があり、また、タブレットで撮影した写真や動画は、いったん、校内用LANパソコンに移動させる必要がある。そこで、寄贈して頂くパソコンを校内LAN用パソコンとして職員室に設置し、利用したいと考えている。	
パソコンはWindows 7・Windows 8である。	校務用と生徒用に利用する。	
	高等部理療科の臨床実習における診療記録の作成と管理。	

会員企業からの作業依頼および封筒寄贈活動

【会員企業からの作業依頼】

作業を行った学校からのメッセージ

作業の感想
仕事のご依頼を頂き、誠にありがとうございます。生徒達にとってかけがえのない体験の場となっております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
企業の商品を扱わせていただくため、生徒も教員も緊張感をもって業務に従事する貴重な経験ができました。

【封筒寄贈活動】

教育委員会からのメッセージ

メッセージ
子どもたちの教育活動に活用させていただきます。本県の支援教育にご協力いただき誠にありがとうございます。
この度は、大変有難いお話をいただき、誠に感謝しております。障がいのある生徒たちにとって、職場体験実習は非常に重要な学びの場であると考えております。
一方で、いきなり校外実習に行くことが困難な生徒もたくさん在籍しており、実践により近い形での校内体験実習は、職場体験実習の前段階としてどの学校も取組んでおります。各校にて、生徒の社会的自立に向けた取組の一環として有効活用させていただきます。

特別支援学校からのメッセージ

【宮城県】

封筒の利用方法等
再生封筒やポチ袋等の作成。ラベル貼りの練習等に活用させていただきます。
作業学習の時間、ラベル貼の練習やスタンプ押印の練習に利用したいと考えています。
作業訓練等で活用したいと考えています。
校内実習での訓練に利用する予定です。
①スタンプ押印作業②のりづけ作業③書類を封筒の大きさに折り、入れる作業④シール貼付作業等

【栃木県】

アピリンピックの種目（オフィスアシスタント）の練習や専門教科（流通者）での学習で使用予定。
・アピリンピック「オフィスアシスタント」競技の練習のため。（封入練習用の）A4パンフレット、B5冊子も併せて希望します。
・封筒は、アピリンピック「オフィスアシスタント」競技練習の他、作業学習での事務作業練習に使用する予定です。
たくさんの封筒、冊子、パンフレットをいただきまして大変ありがとうございます。早速、作業学習や来年度のアピリンピック大会へ向けての練習に使用させていただきます。

【茨城県】

諸会計袋や外部関係者への事務連絡等で使用します。
作業学習や校内作業実習に活用させていただきたいと思います。具体的にはまだ検討段階ですがラベル貼り、押印の練習、リサイクル封筒の作成に利用したいと考えています。有効に活用させていただきたいと思います。
会社情報部分に紙を貼り、作業学習で収穫したひまわりの種を入れる袋として使用したいと思っております。尚、ひまわりの種は、作業学習で取組んでいるリサイクル活動の一環としてペットボトルや空缶の回収をしており、それに御協力頂いた地域や保護者の方へお渡しします。
アピリンピック「オフィスアシスタント」の練習。

【千葉県】

職業実習の授業で使用します。
専門実習でスタンプ押しの練習などに利用します。
・アピリンピック「オフィスアシスタント」の練習 ・封筒印刷の時のためし刷り 今回のような機会をいただき、大変ありがたく思います。大切に使用させていただきます。
・進路学習 ・現場実習の事前学習

【東京都】

本校のロジスティクスコースでは、1年生が封入・封緘・発送についての実習を行います。来年度、校内の実習で活用させていただければと思っております。本当にありがとうございました。

封筒ありがとうございました。大変助かります。

封筒を寄贈いただけるとのこと、誠にありがとうございます。様々なタイプの封筒を頂戴できましたので、封筒の窓の位置を意識した封入練習などに取り組みめるかと思います。

【神奈川県】

作業学習におけるラベル貼、スタンプ押印等の練習。

ありがとうございました。授業で活用し、生徒への指導に役立てていきたいと思います。

封入練習や、再生封筒の作成を校内実習で行います。

たくさんの方の封筒の寄贈、ありがとうございます。校内実習が2学期と3学期にありますので、作業種を1つ増やして活動することができます。実習担当をはじめ、学年の職員、皆喜んでおります。

進路学習の中の校内実習で活用します。ラベル貼り、印押しなど実態に合わせた形を検討していますが、封入作業もできると良いと思っています。封入用パンフレット等を頂けると幸いです。

普段の職業班の授業や6月と10月にある校内実習での学習教材に適した教材をいただけるということで感謝申し上げます。生徒の活動にしっかり生かしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

・校内実習 ・作業学習 等

・再生封筒の作成 ・封筒仕分けの練習 ・紙袋の作成

有難うございます。活用させていただきます。

【静岡県】

職場実習でラベル貼りや書類を封筒に入れる仕事を行う生徒の作業学習として活用させて頂きたいと考えています。

この度は封筒を寄贈して頂きまして、誠にありがとうございました。本校高等部生徒は、社会参加に向けて学習を行っております。今回頂きました封筒は、校内作業実習においてポストインの練習に使用し、封筒の扱いに慣れていきたいと考えております。実際に作業所や企業で実習する際にそのような作業に取り組む機会が多くあります。今回頂いた封筒を活用し、生徒の働く力をつけるための学習に取り組んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。

校内実習用教材として使用します。

アピリンピック（オフィスアシスタント）練習で活用させていただきたいです。可能ならば封入用のパンフレットも頂きたいです。よろしく願いいたします。

・実習先選定のため（職種理解）、職業の時間で活用 ・事務系作業を希望する生徒の練習教材として活用。封入・DMシール貼り等有効に使用させていただきます。

作業学習（中学部・高等部）や職業の学習において、封筒への押印やラベル貼の練習用として活用させて頂きたいと考えています。封筒をいただけるということで、本当に有難く思っています。中学部・高等部の授業では、「働く人」を目指して、取り組んでいます。職業や作業学習の中で、いただいた封筒を活用させていただき、生徒たちの働く意識をさらに高めていきたいと思っております。

【岐阜県】

・卒業後の進路に向けて校内作業実習で使用 ・自立活動で教材として使用 ・作業学習で使用する封入用パンフレット・冊子も希望したい作業学習の教材として大切にに使わせていただきます。本当にありがとうございました。

本校のリサイクル班が使用済みの封筒に用紙を貼って、校内や保護者宛てに使う封筒として再利用しています。今回いただいた際には、同じように利用させていただく予定です。

作業学習にて宛名シール貼り、3つ折り、スタンプ押し等

ラベル貼り練習、封入作業の練習（障がい者技能オリンピック競技種目「オフィスアシスタント」の練習も兼ねています。）。毎年、封筒の確保にとっても困っていましたが、心からありがたいお話です。本当にありがとうございました。生徒の学習に存分に活用させていただきます。

再生封筒の作成等

この度は貴重な教材を提供していただき、誠にありがとうございます。

<p>アビリンピック（オフィスアシスタント）練習 申し込みさせていただいた学習教材用の封筒が届きました。たくさん送っていただき、ありがとうございました。 当校は昨年度から1人ずつ、アビリンピックのオフィスアシスタント部門に出場しております。今年度は地域の大会で賞をいただくことができ、その生徒は大きな自信を得ることができました。結果はともかく、アビリンピックに挑戦することはよい経験になりますので、今後も引き続き出場したいと考えています。たくさん未使用封筒をいただきましたので、来年度は、早い段階から本番さながらの練習をすることができます（今までは、あちらこちらから掻き集めた「比較的きれいな封筒」と100枚ほどの未使用封筒を使って練習していました）。 いただいた封筒は、大切に、有効に、使用させていただきます。本当にありがとうございました。</p>
<p>「ロジスティックス」の授業でラベル貼り・押印・封入・封緘に利用する予定です。 この度は、作業学習教材として多くの封筒をご提供いただき誠にありがとうございました。本校は高等特別支援学校であり、必須専門教科「ロジスティックス」があります。この授業において、封筒を使用した学習を計画しており、ご提供頂いた封筒は大変ありがたい教材です。心より感謝申し上げます。今後十分活用させていただきます。</p>

【島根県】

<p>仕事を学ぶ学習の中で利用したいと考えています。</p>
<p>来年度7月開催予定のアビリンピックしまね大会に向け、練習用封筒として活用したいと考えております。</p>

【滋賀県】

<p>校内実習</p>
<p>封入練習 毎年作業学習教材の案内、ご提供ありがとうございます。本校高等部で実施しています作業学習で封筒を活用させて頂きたいと考えています。</p>

【大阪府】

<p>職業の授業における軽作業（ラベル貼りや3つ折した用紙を封入する）に使用します。</p>
<p>紙袋の製作や再生封筒の作成に利用を予定しています。</p>
<p>・再生封筒の作成・封緘の練習・小物の作成等 ありがとうございます。有効に活用させていただきたいと思えます。</p>
<p>・書類の封入練習 ・カラー封筒を頂ければと思います。書類とのコントラストがあるほうが弱視生徒にとって見やすいため。教材を発送いただきましてありがとうございました。</p>
<p>作業の授業でプリントの封入や切手貼りの練習に使いたい。 作業学習用教材を送っていただき、ありがとうございました。これからの作業学習で利用していきたいと思えます。</p>
<p>職業の授業でラベル貼り練習等で使用予定。 ありがとうございました。今後の授業で活用させていただきます。</p>
<p>職業コースの学習の中で印刷物の封入、封緘作業、ラベル貼り等の取り組みで活用します。</p>
<p>高等部の選択授業の作業学習用の教材として使います。</p>
<p>スタンプ押印の練習を授業や校内実習で実施することを計画しています。また、封筒を加工して小さな袋を作ることを考えています。</p>
<p>郵便仕分け、ラベル貼り、封入・封出、作業・実習の授業で使用予定。 封筒だけでなく、パンフレット・冊子・封入練習用の封筒まで送付していただき、誠にありがとうございました。いただいた教材一式は、生徒の指導のため、大切に活用させていただきます。</p>
<p>・封緘の練習 ・ラベル貼の練習</p>

【長崎県】

<p>職業・家庭や生活単元学習などで、書類の封入や糊付け、ラベル貼り等の活動に使用します。</p>
<p>・アビリンピック「オフィスアシスタント」の練習 ・専門教科「流通・サービス」でのラベル貼・封緘等の教材。</p>
<p>現場実習等に向け、ラベルシール貼り、封緘、スタンプ押印、封入作業等の練習に取り組みたい。また、希望封筒以外に返信用（はがき、封筒）やパンフレット等、提供して頂けるものがあれば希望します。</p>
<p>ポチ袋の作成、ラベル貼りの練習等。</p>